

23a. IT技術者必須のサーバ技術 Linuxのしくみ（中級編）

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室、出島交流会館、オフィスメーション、県勤労福祉会館等
・講師	麻生教育サービス(AES)講師：徳重 稔氏
・開催月日	12月7日～12月9日
・実施時間・日数	9:30～17:30（7時間/日）・3日間（21時間）
・受講料（税別）	78,800円
・教材料（税別）	5,000円

受講希望者2名のため、規定により中止

2. 対象者

Linuxサーバを利用して開発や運用をする方、またはプログラム開発者（基礎を理解されている方）
「IT技術者必須のサーバ技術 3日で学ぶLinuxのしくみ」を受講していることが望ましい。

3. カリキュラムの概要

「IT技術者必須のサーバ技術 3日で学ぶLinuxのしくみ」の続編です。CentOSを使って、Linuxサーバで重要なファイルシステム、ログ、ネットワーク、パッケージ管理をさらに深く掘り下げ、またcronによるコマンドの自動実行およびシェルスクリプトによる管理の自動化を学びます。

4. カリキュラムの詳細

3日間（21時間）

科目	時間	科目の内容
1. サービスの管理	3.0 Hr	・OSが起動するまでのプロセス ・ブートローダーGRUBの起動 ・ランレベル ・サービスの自動起動
2. ファイルシステムの管理	3.0 Hr	・UIDとGID ・umaskが4桁の理由 ・スティッキービット ・ハードリンクとシンボリックリンク ・マウント、アンマウント
3. ログ管理	3.0 Hr	・dmesgに記録されるログ ・rsyslogに関して ・ファシリティとプライオリティ
4. ネットワーク管理	3.5 Hr	・ネットワークの設定 ・netstatコマンドを使った設定確認 ・iptablesによるパケットフィルタリング
5. パッケージ管理	2.5 Hr	・ソースファイルからのインストール ・tarballとは ・インストール手順
6. cronによるコマンド自動実行	2.5 Hr	・cronによるジョブ実行 ・anacronによるジョブ実行
7. シェルスクリプト	3.5 Hr	・シェルスクリプトの作成 ・引数 ・readコマンド ・条件分岐（if文、for文、for文）
計	21.0 Hr	

5. 使用教材

- ①CentOS 7実践ガイド
古賀 政純（著） 出版社：インプレス 価格：¥3,240（税込）
- ②オリジナル教材

6. 到達目標

- ・サービスの管理が行える。
- ・ファイルシステムの管理が行える。
- ・ログ管理が行える。
- ・パケットフィルタリングが理解できる。
- ・ソースファイルからのインストールができる。
- ・cronによるコマンドの自動実行ができる。
- ・シェルスクリプトを利用してスクリプトが書ける。